



「平成」が間もなく終わりを告げる。4月1日には、新元号「令和」が発表され、新時代の幕開けを感じる中、国学院大学では学部、大学院、専攻科、別科を合わせて2300人余りの新入生が学究の道を歩み始めた。満開の桜の下、志を新たに、入学式に臨んだ新入生は、「専門的な知識を磨きたい」「国学院大学で学んでよかったと思える4年間としたい」「友人をたくさんつくりたい」などと学生生活への期待を口にした。

花咲く新時代へ 新体制がスタート

学校法人国学院大学では、任期満了に伴い、平成22年以来経営のトップとして手腕を振るった坂口吉二前理事長が退任。4月3日に行われた理事改選で、16人の理事が選出され、続く第1回理事会（同8日）で理事の互選により、佐柳正三常務理事が新理事長に就任することが決まった。

また、国学院大学では、赤井益久前学長の任期満了に伴い同1日、針本正行文学部教授が新学長に就任し、新体制がスタートした。

「6・7面に針本新学長インタビュー、12面に入学式関連記事」

就任にあたって

理事長 佐柳正三

この度、坂口吉二前理事長の退任に伴い、理事会にて理事長の職を拝命いたしました。

もとより微力ではありますが、学校法人国学院大学のさらなる発展のため、努力を尽くす所存です。

今上陛下のご譲位により、30年続いた平成の時代が幕を閉じ、5月から皇太子殿下のご即位により「令和」という新しい時代がはいよいよ始まります。

少子高齢化やグローバル化の進展、人工知能をはじめとする科学技術の進歩など急速に社会構造が変化する新時代に、学校法人および教育機関に求められる役割は、教育内容や方法、地域社会への貢献など、高度かつ多様になっていきます。

本法人では平成29年に、5カ年の中期計画である「21世紀研究教育計画（第4次）」を策定し、中期的な視座に立ち、「国学院ブランドの確立と強化」を目標に掲げ、法人が一丸となって取り組みを進めています。傘下の各教育機関は、法人の目標を達成すべく、それぞれの将来像と教育目標を定め、計画に基づ

く2000を超える事業を展開しています。計画の実現と目標の達成に向け、法人全体及び各設置校間の連携を図り、安定した財政基盤の確立とガバナンス強化に注力していく所存です。

また、法人経営の根幹は人材育成にあります。多様な働き方に対応し、教職員が働きやすい職場環境の醸成にも理事長として取り組んでまいります。

本法人は建学以来、神道精神に基づいた教育を「標榜」しております。先人より連綿と受け継がれてきた本法人の理念を次世代へと継承し、新時代の中核を担う人材を育成する教育機関として社会の付託に応えるべく、一貫教育の実現に向け役教職員一体となって邁進してまいります。



みはるかすもの

平成最後の1カ月は、統一地方選が行われ列島が選挙モードになった。新時代を担う首長や議員を選ぶ大事な審判のはずだが、7日に投開票された41道府県議選では平均投票率が44・08%で、戦後最低を記録▼さらに深刻なのは、無投票当選の多さだ。今行われた道府県議選の全てで無投票の選挙区があり、無投票当選者は、全国で600人を超えた。定員に占める割合は27%に上り、総務省に記録が残る昭和26年以降、最高だという▼神奈川県議選では、48ある選挙区のうち、過去最多の13選挙区で無投票となった。140万人の有権者が投票機会を失う事態だ▼こうした状況は、

全国で起きている。地方では平成に入ってから一度も投票が行われなかった県議選や首長選挙もあるとか。少子高齢化の中、地域行政の担い手不足がここでも深刻化している。有権者からすれば、投票機会が失われることで、地域行政への関心、意識が失われることにはならないか▼選挙権年齢が18歳に引き下げられ、若者たちの意見がくみ上げられるようになったとはいえ、立候補者がいなければ元も子もない▼国民が注目するなか発表された新元号「令和」。発表を聞いた街の声を伝えるニュースには「平和で令和時代になってくれれば」との期待が聞かれた。よい時代をつくるのは、為政者の力ではない。国民一人一人の行いであり、その積み重ねにあることを改めて問いたい平成の終わりである。

常務理事



大村 秀司
常務理事

(理事長職務代理・代行者)

理事長



佐柳 正三
理事長

新任理事



植村 勝慶
理事



石川 則夫
理事



橋本 憲市郎
理事



鎌田 薫
理事

法人理事改選

新理事長に佐柳氏

任期満了に伴う理事改選が4月3日、学校法人国学院大学第1回評議員会で行われた。選出された理事・監事は次の通り（敬称略・五十音順、※は新任）。

◇理事▽石川則夫※▽今井寛人▽植村勝慶※▽大村秀司▽尾近裕幸▽鎌田薫※▽木村知躬▽木村好成▽佐柳正三▽千家尊祐▽津田栄▽中島精太郎▽中村陽▽橋本憲市郎※▽針本正行▽吉田茂穂

◇監事▽稲葉久雄▽小林英夫▽玉井浩二

第1回理事会は4月8日に開催され、理事長の互選などが行われた。その結果、理事長には佐柳正三氏が新たに選ばれ、常務理事・理事長職務代理・代行者に、大村秀司氏が選ばれた。理事の任期は平成31年4月8日から4年間。また、坂口吉一前理事長は常任顧問に就任した。その他に委嘱された顧問、参与は次の通り（敬称

略・五十音順、※は新任）。委嘱期間は令和5年3月31日まで。

◇顧問▽赤井益久※▽川福基之▽久邇邦昭▽小松揮世久▽澄川喜一▽鷹司尚武▽田中恆清▽田村弘※▽寺井種伯▽外山勝志▽鳥居泰彦※▽中村光男▽武藤浩※

◇参与▽荒嶋保▽岩下忠佳▽岡野弘彦▽岡部定征▽加藤隆久▽黒神公直▽桑原恒明▽新富康央※▽千葉博男※▽塙東男※▽宮崎義敬

新たな学修の拠点に
総合学修館（6号館）竣工



渋谷キャンパス再開発事業の一環として、旧専門学校跡地に建設が進められてきた総合学修館（6号館）が完成した。同館は地上3階地下2階建て。9つの教室と事務室（国際交流課）などで構成され、1、2階には隣接する氷川神社の鎮守の杜を望む自習スペースが設けられたほか、留学生らに配慮した祈祷室が学内で初めて設置された。

竣工祭は3月28日、同館内の教室を斎場に行われた。斎主の田村康雄・渋谷氷川神社宮司が拝礼をしたのち、坂口吉一理事長（当時）、赤井益久学長（同）、設計を担当した日建設計の川島克也代表取締役副社長、建築施工を担当した松井建設の松井隆弘代表取締役社長が祭壇に玉串を捧げ拝礼した。

祭典終了後に行われた直会で坂口理事長は、「120周年記念1号館から総合学修館まで7棟の建設に携わってきた責任者として感慨もひとしおです」と法人を代表して挨拶。続いて赤井学長は「立地、建物、雰囲気、校風が学生たちを育む。総合学修館が学生たちにより良い刺激を与え、新たな校風をつくっていくのではないかと考えています」と乾杯を前に挨拶した。

同館竣工後、国際交流課は国際交流センターから移転して3月28日から業務を開始している。

卒業奉告祭・入学奉告祭を斎行



卒業奉告祭が3月15日、入学奉告祭が4月1日に渋谷キャンパス神殿で斎行された。卒業奉告祭には、坂口吉一理事長（当時）、赤井益久学長（同）、大学関係者らが参列。修了を迎える別科生らが伶人として奉仕し、厳かに雅楽を演奏した。

また、入学奉告祭では、坂口理事長、針本正行学長らとともに新入生代表も参列し、玉串を神前に捧げ拝礼した。

第18期評議員が決定

学校法人国学院大学の第18期評議員が3月22日に開催された理事会で次の通り選出された（※は新任）。任期は令和5年3月末まで。

第21条第1項1号

針本正行▷植村勝慶▷根岸茂夫▷石川則夫▷一木孝之※▷橋元秀一▷西岡和彦※▷成田信子▷武田秀章▷武智浩二▷平野泰樹▷津田栄▷國清英明

第21条第1項2号

小川直之▷佐藤長門※▷野呂健▷中泉真樹▷坂本一登※▷石井研士▷藤田大誠※

第21条第1項3号

大野靖仁▷城所俊哉▷中村大介※▷橋本憲市郎

第21条第1項4号

山寺三知※▷中村彰伸▷宇梶良昭▷高橋秀明※▷笛田信一※

第21条第1項5号

秋元善行▷今井亮▷大村秀司▷鍵三夫※▷河村基夫▷黒田眞子▷杉田秀清▷鈴木宏明▷関根俊※▷田畑善朗※▷千野隆司▷中山高嶺※▷廣井武司▷村山和臣▷湯澤齊▷吉井良昭▷吉田茂穂▷吉田源彦

第21条第1項6号

今井寛人▷大島居信史▷花山院弘匡▷鎌田薫※▷木村知躬▷木村好成▷琴陵容世▷佐藤美穂▷佐柳正三▷末岡熙章▷千家尊祐▷高城治延▷田中安比呂▷長曾我部延昭▷中島精太郎▷中村陽▷西高辻信良▷松山文彦

平成31年度入学者数

◎大学院◆博士課程前期◇文学研究科63人▷神道学・宗教学専攻7人▷文学専攻30人▷史学専攻26人◇法学研究科▷法律学専攻1人◇経済学研究科▷経済学専攻11人◆博士課程後期◇文学研究科24人▷神道学・宗教学専攻5人▷文学専攻9人▷史学専攻10人◇法学研究科▷法律学専攻2人◇経済学研究科▷経済学専攻1人（大学院合計102人）

◎学部◆文学部714人▷哲学科66人▷史学科200人▷日本文学科261人▷中国文学科64人▷外国語文化学科123人◆経済学部492人▷経済学科175人▷経済ネットワーク学科154人▷経営学科163人◆法学部▷法律学科490人▶法律専攻396人▶法律専門職専攻47人▶政治専攻47人◆神道文化学部▷神道文化学科190人◆人間開発学部346人▷初等教育学科105人▷健康体育学科138人▷子ども支援学科103人（学部合計2232人）

◎専攻科▷神道学専攻▷神道学専攻19人（専攻科合計19人）

◎別科▷神道専修Ⅰ類0人▷神道専修Ⅱ類4人（別科合計4人）

[総計2357人]

学長特別賞に増山さん(神文)、 陸上競技部・浦野雄平さん



平成30年度の学長特別賞に、同年度卒業の増山正芳さん(神文)と、陸上競技部の浦野雄平さん(経営3＝当時)の2人が選ばれ、3月17日、グランドプリンスホテル新高輪で表彰式が行われた。同賞は、同年度学生部長賞受賞者の中から、特に優れた功績を残した者に贈られる。

増山さんは、3年連続で成績最優秀者として表彰されたほか、東日本大震災の復興ボランティアや観月祭、ワークショップなどの課外活動でも活躍した功績が評価された。増山さんは「感謝の気持ちでいっぱい。卒業後は法科大学院に進学するので、また違った分野で社会貢献をしたい」と目標を新たにした。

浦野さんは、30年4月にスイスで開催された「世界大学クロスカンントリー2019」に日本代表として出場し、6位入賞。また今年1月の「第95回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」では、山登りの5区で区間新記録での区間賞を獲得し、本学の往路3位、総合7位に貢献した。浦野さんは「今回の受賞は、いつも心配してくれている親に一番に報告したい。31年度は学生最後の年、もっと記録を残したい」と力強く抱負を述べた。

3氏に学位記を授与



本学は河村忠伸氏(秋葉山本宮秋葉神社秋葉神社史研究主任)に博士(神道学)、秋山英治氏(愛媛大学准教授)に博士(文学)、宮武正登氏(佐賀大学教授)に博士(歴史学)の学位を授与することを決定した。3月13日、渋谷キャンパスで赤井益久学長(当時)から3氏に学位記が贈られた。

河村氏の学位審査論文は『近代神社法制度の基礎的研究』。主査は阪本是丸神道文化学部教授、副査は武田秀章神道文化学部教授、齊藤智朗神道文化学部教授、藤本頼生神道文化学部准教授。

秋山氏の学位審査論文は『愛媛県東中予方言のアクセントと共通語のアクセントー日本語史再建のために一』。主査は久野マリ子文学部教授(当時)。副査は小田勝文学部教授、上野善道東京大学名誉教授・本学大学院兼任講師、木部暢子国立国語研究所教授。

宮武氏の学位審査論文は『肥前名護屋城の総合的研究』。主査は吉田敏弘文学部教授。副査は矢部健太郎文学部教授、千々和到大学院客員教授、千田嘉博奈良大学教授。

訃報 荻久保名誉教授

荻久保泰幸名誉教授が2月17日に逝去。88歳。通夜は同24日、告別式は同25日に西光寺(東京都調布市)で執り行われた。

荻久保氏は昭和5年生まれ。28年国学院大学文学部卒業、31年同大学院文学研究科修了。同年国学院大学分校自習室助手、37年同文学部専任講師、42年助教授、49年教授。平成13年定年退職、名誉教授。在職中、文学部長などを歴任した。

専門は日本近代文学。『現代日本文学研究』(明治書院)、『文学の内景 漱石とその前後』(双文社出版)などの著書がある。



第127回国学院大学卒業証書・学位記並びに修了証書授与式。赤井学長は式辞で「人生の道のりは長く、『学ぶ』ことに終わりはありません」とした上で、「学んだことを基礎として、社会でそれを生かす努力をしてください。日々、大きく変容する社会で諸君が抱えるべきものは、大学で積んだ知識や経験です。悩んだら書物を読み、人と対話し、考えをめぐらし、心の中に太い柱を建てていつてほしいと願っています」と、卒業生のさらなる活躍を願った。

続いて、国学院大学院友会の吉田茂穂会長が来賓を代表して祝辞を送り、5学部長が「卒業生に贈る言葉」で激励。卒業生を代表し、午前と午後の式でそれぞれ1人が答辞を述べた。式典では、若木育成会による成績優秀者の表彰も行われ、加藤圭子会長から18人の対象者に賞状と記念品が贈られた。

赤井学長の式辞要旨 「自らを理解し、多様な文化の相互理解を」

卒業にあたり、入学時に立てた目標にどれだけ近づき、実践できたか振り返ってみてください。皆さんが学んだ国学院大学を、自分が専門とした学問を自分の言葉で説明できるように。いかに理解できているでしょうか。

本学の母体である皇典講究所は、明治維新後、日本の古典を講究する機関として出発しました。そして本学はその教育にあたり、「神道精神」に基づく人材育成を基本方針としています。皆さんが学んだ専門は異なるにせよ、本学の基盤を形成する精神の中には、これからの日本社会、ひいてはグローバル化が叫ばれる世界において、未来を切り開くための鍵があるように考えます。

本学の中期計画「21世紀研究教育計画(第4次)」では、教育を通して「豊かな知」を身につけることを標榜しています。「豊かな知」とは、「悩む力」「多様性を受け入れ生き抜く力」であると考えています。現在、文化の多様性にいかに対応していくかは、さまざまな課題をはらんでいます。自らを理解し、自らの言葉で自らを語ることができなければ、それに基づく調和、他者理解はおぼつかなくなるでしょう。学生時代を振り返り、自らが学んだ大学や専門を自分の言葉で語ることができるようになってほしいと願うのは、そうした内省的行為により、深いレベルでの相互理解が可能になると考えるからです。

われわれは過去に学び、将来を考えながら「今」を生きるよりほかありません。卒業を機に、歩んできた道を振り返り、来べき新たな未来の扉を力強く押し開けていただきたいと思っています。



石澤さん(新ステージで挑戦)と野村さん(臆することなく踏み出す)の2人は、本学の学長特別賞を受賞した。石澤さんは「大学生活では、自分で物事を選択し、その決断に責任を持つ機会が増えました。悩んだとき、先生や先輩方は温かい助言を与えてくださり、同期、後輩の存在は自分を鼓舞してくれました。近くでともに頑張りが合う仲間、支えてくれた家族の存在があったからこそ、この大学生活です。伝統ある国学院大学で学んだこと、学業や課外活動に粘り強く臨んだ経験を忘れずに、新たなステージでも挑戦し続けていきたいです」。

野村さん(臆することなく踏み出す)は、人間開発学部・野村博樹さん(健体)。「専門性を高め、教師になりたいという思いに、熱心で情熱にあふれた先生方が応えてくださり、満足いくまで学業に励むことができました。また、同期とは真剣に向き合い、励まし合い、心の底から笑い合える仲間になり、かけがえのない時間を過ごしました。この4年間で得た財産を手に、臆することなく新たな一歩を踏み出し、精進していくことを決意いたします」。

文学部・石澤菜衣子さん(史)。「大学生活では、自分で物事を選択し、その決断に責任を持つ機会が増えました。悩んだとき、先生や先輩方は温かい助言を与えてくださり、同期、後輩の存在は自分を鼓舞してくれました。近くでともに頑張りが合う仲間、支えてくれた家族の存在があったからこそ、この大学生活です。伝統ある国学院大学で学んだこと、学業や課外活動に粘り強く臨んだ経験を忘れずに、新たなステージでも挑戦し続けていきたいです」。

学部・専攻科・別科卒業式 学舎集立ち 新たな一歩

平成30年度第127回卒業式が3月17日、東京都港区のグランドプリンスホテル新高輪で坂口吉一理事長(当時)、赤井益久学長(同)ら役教職員と卒業生、家族が出席して挙行された。学部・専攻科・別科の卒業生2524人は、赤井学長から多くの祝福と激励を受け、希望を胸に新たな一歩

を踏み出した。午前は法学部、経済学部、人間開発学部、午後は文学部、神道文化学部と神道学専攻科、別科神道専修の式典が行われた。国歌斉唱に続き、赤井学長が各学部、専攻科別科修了の総代に卒業証書・学位記を授与した。

赤井学長の式辞要旨 「自らを理解し、多様な文化の相互理解を」

卒業にあたり、入学時に立てた目標にどれだけ近づき、実践できたか振り返ってみてください。皆さんが学んだ国学院大学を、自分が専門とした学問を自分の言葉で説明できるように。いかに理解できているでしょうか。

本学の母体である皇典講究所は、明治維新後、日本の古典を講究する機関として出発しました。そして本学はその教育にあたり、「神道精神」に基づく人材育成を基本方針としています。皆さんが学んだ専門は異なるにせよ、本学の基盤を形成する精神の中には、これからの日本社会、ひいてはグローバル化が叫ばれる世界において、未来を切り開くための鍵があるように考えます。

本学の中期計画「21世紀研究教育計画(第4次)」では、教育を通して「豊かな知」を身につけることを標榜しています。「豊かな知」とは、「悩む力」「多様性を受け入れ生き抜く力」であると考えています。現在、文化の多様性にいかに対応していくかは、さまざまな課題をはらんでいます。自らを理解し、自らの言葉で自らを語ることができなければ、それに基づく調和、他者理解はおぼつかなくなるでしょう。学生時代を振り返り、自らが学んだ大学や専門を自分の言葉で語ることができるようになってほしいと願うのは、そうした内省的行為により、深いレベルでの相互理解が可能になると考えるからです。

われわれは過去に学び、将来を考えながら「今」を生きるよりほかありません。卒業を機に、歩んできた道を振り返り、来べき新たな未来の扉を力強く押し開けていただきたいと思っています。

卒業生代表答辞要旨

人間開発学部・野村博樹さん(健体)。「専門性を高め、教師になりたいという思いに、熱心で情熱にあふれた先生方が応えてくださり、満足いくまで学業に励むことができました。また、同期とは真剣に向き合い、励まし合い、心の底から笑い合える仲間になり、かけがえのない時間を過ごしました。この4年間で得た財産を手に、臆することなく新たな一歩を踏み出し、精進していくことを決意いたします」。

大学院学位記授与式 大学院博士後期修了は11人

平成30年度の大学院学位記授与式が3月15日、渋谷キャンパス常磐松ホールで、坂口吉一理事長(当時)、赤井益久学長(同)、金子修一大学院委員長(同)をはじめ、役教職員らが出席して行われた。

式典では、大学院博士課程後期修了生11人の氏名と論文が紹介され、赤井学長が博士學位記を授与。続いて、博士課程後期所定単位修得退学者15人の氏名が読み上げられ、博士課程前期修了生80人に対する修士學位記の授与が行われた。

赤井学長は式辞で「諸君が大学院に入学した際に申し上げましたことを今一度、初心に立ち返って思い起こしていただきたいと思います。それは、学問は何のためにあるのか。また、それにどう立ち向かうのか、という問いかけです」と語りかけ、「謙虚な心で未知のものに興味を抱き、真実の発見には喜び、絶えず人類の未来を見据えることを心がけてほしいです」とエールを送った。

これに対し、大学院博士課程後期修了生を代表した大貫大樹さん(博前文)は「今日という日を迎えることができたのは、師恩友益の賜物です。ご厚意と慈愛に満ちたご指導をたまわり、多大な学思をいただきました先生方、親切なご配慮をくださった大学職員の皆さま方に心より感謝申し上げます」と答辞を述べた。

資金収支予算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位：百万円)

収入の部			
科 目	予算	前年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	13,141	13,601	△460
手数料収入	683	643	40
寄付金収入	419	465	△46
補助金収入	2,242	2,074	168
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	150	174	△24
受取利息・配当金収入	122	143	△21
雑収入	399	639	△240
借入金等収入	596	1,606	△1,010
前受金収入	2,388	2,409	△21
その他の収入	4,705	4,278	427
資金収入調整勘定	△2,556	△2,804	248
当年度収入合計	22,289	23,228	△939
前年度繰越支払資金	7,598	10,741	△3,143
収入の部合計	29,887	33,969	△4,082

支出の部			
科目	予算	前年度予算	増減
人件費支出	9,358	9,927	△569
教育研究経費支出	4,042	3,781	261
管理経費支出	1,264	1,262	2
借入金等利息支出	15	13	2
借入金等返済支出	820	730	90
施設関係支出	4,103	3,152	951
設備関係支出	382	683	△301
資産運用支出	2,428	6,098	△3,670
その他の支出	261	463	△202
予備費	499	499	0
資金支出調整勘定	△150	△237	87
当年度支出合計	23,023	26,371	△3,348
翌年度繰越支払資金	6,864	7,598	△734
支出の部合計	29,887	33,969	△4,082

事業活動収支予算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：百万円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	前年度予算	増 減
		学生生徒等納付金	13,141	13,601	△460
		手数料	683	643	40
		寄付金	142	163	△21
		経常費等補助金	2,222	2,054	168
		付随事業収入	150	174	△24
		雑収入	399	639	△240
		教育活動収入計	16,737	17,274	△537
	事業活動支出の部	人件費	9,293	9,771	△478
		教育研究経費	5,660	5,379	281
		管理経費	1,402	1,397	5
		教育活動支出計	16,355	16,547	△192
	教育活動収支差額		383	727	△344
	教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	122	143
その他の教育活動外収入			0	0	0
教育活動外収入計			122	143	△21
事業活動支出の部		借入金等利息	15	13	2
		教育活動外支出計	15	13	2
教育活動外収支差額		106	130	△24	
経常収支差額		489	858	△369	

特別収支	事業活動収入の部	科 目	予算	前年度予算	増減
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	312	338	△26
		特別収入計	312	338	△26
	事業活動支出の部	資産処分差額	22	124	△102
		特別支出計	22	124	△102
特別収支差額		289	214	75	
【予備費】		499	499	0	
基本金組入前当年度収支差額		279	573	△294	
基本金組入額合計		△5,411	△4,646	△765	
当年度収支差額		△5,132	△4,073	△1,059	
前年度繰越収支差額		△5,560	△1,488		
基本金取崩額		0	0		
翌年度繰越収支差額		△10,692	△5,561		
(参考)					
事業活動収入計		17,171	17,755	△584	
事業活動支出計		16,892	17,183	△291	



今回の協定締結により、今後両大学は連携、協力の推進に向けて具体的な取り組みの検討が進められることになる。

平成31（令和元）年度国学院大学予算は、3月22日開催の理事会・評議員会で承認、成立した。

事業活動収支予算は、①教育活動②教育活動以外の経常的な活動③①②以外の活動に対応する事業活動収支及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、当該会計年度において基本金に組み入れる額を控除した、当該会計年度の諸活動に対応する全ての事業活動及び事業活動支出

の均衡の状態を明らかにすることを目的としている。つまり、「3つの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにする（区分経理）」、「均衡の状態を明らかにする（収支の均衡）」を主な目的としている。

詳細は、本学ホームページに掲載している。（財務部経理課）

新年度予算成立

31年度入試 志願者数 過去最高の2万9000人突破

平成31年度の一般入試志願者は昨年度比4714人増の2万9471人で、過去最多となった。近年、18歳人口の減少や文部科学省による入学定員管理の厳格化など大学入試を取り巻く環境が大きく変化する中、入試制度改革や積極的な募集広報の展開が奏功し、大幅な志願者増につながた。

国学院大学博物館の来館者初の7万人台に

平成30年度の国学院大学博物館来館者が7万9326人となり、初めて7万人の大台を記録した。これまでの最多記録は28年度の6万3679人だったが、昨年度は特別展「神に捧げた刀－神と刀の二千年－」など目玉となる大型の特別展を3回開催したほか、外部の展示施設と連携した新たな試みにチャレンジしたことなどが大幅な来館者増につながったとみられる。

前身である「考古学標本室」開設から90周年を迎えた本学博物館。昨年度開催した特別展、企画展の来館者数トップは特別展「神に捧げた刀」の2万2528人（開館日数52日）で、1回の展示で初めて来館2万人を超えた。同展以外にもほとんどの展示で来館1万人を超え、上位は企画展「開館90周年記念 日本文化の淵源を求めて－考古学陳列室から国学院大学博物館まで－」1万2154人（同48日）、特別展「キリシタン－日本とキリスト教の469年－」1万2020人（同44日）の順だった。

英語教育センターを設置

本学は4月1日付で教育開発推進機構に新たに英語教育センターを設置した。同センターは平成26年に設置されたランゲージ・ラーニング・センターを廃止して設置されるもので、共通教育プログラムにおける英語教育の方針の策定とその充実、運営を目的に掲げている。センター長には久保田正人教授（特別専任）が就任した。

グローバル・チャレンジ・プログラム 初の修了者に証書授与

本学では、日本文化を世界に発信できる知識と技能を身につける「グローバル・チャレンジ・プログラム」を設けている。平成30年度の卒業生で同プログラム初の修了者が誕生し3月19日、渋谷キャンパスで修了証の授与式が行われた。

田原裕子・国際交流推進部長（当時）は「このプログラムは国学院大学らしいグローバル人材のお手本になってもらうために、日本文化を外国語で伝えることができる人材の育成を目指すべく設けられた。ますます日本と世界をつなぐ存在になるよう活躍を祈っている」と挨拶した。続いて赤井益久学長（同）から、第1号の修了者となった小出美紀さん（法4・同）に修了証が手渡された。

同プログラムは、日本文化に関する基礎科目で単位を修得のうえ、正課・正課外の活動での語学力、海外留学、海外渡航経験、国内での国際交流活動で指定されたグローバル・チャレンジ・ポイントを取得し、卒業時まで

国学院大学と東京農業大学は、相互に連携・協力を推進することに合意し基本協定を締結した。今回締結された協定は、両大学の持続的な発展と多様な価値観に基づく新たな価値の創造に寄与することを目的としたもの。調印式は2月21日、渋谷キャンパスで行われ、赤井益久学長（当時）と東京農業大学の高野克己学長らが出席した。

東京農業大学と連携・協力 基本協定を締結

協定書に署名をしたのち挨拶に立った高野学長は、昭和20年の戦火で消失するまで同大の常盤松校舎が本学渋谷キャンパスの隣地にあったことに触れ、「国学院大学とは、隣近所で親しく付き合い合っていた。お互いにないところを補い合う協定になれば」と述べ、赤井学長は「私たちの大学は、専攻する分野が理と文で異なる。相乗作用で互恵的な関係ができるのではないかと楽しみにしている」と応じた。

若木育成会から教育環境整備協賛金目録贈呈



「若木育成会教育環境整備協賛金目録贈呈式」が 3 月 17 日、グランドプリンスホテル新高輪で行われ、同会の加藤圭子会長から赤井益久学長（当時）に目録が贈呈された。

同会是在学生保護者の組織で、大学と保護者との連絡を密にし、学生の勉学と福祉、大学教育の振興充実、併せて会員相互の親睦を図ることを目的としている。今回の協賛金は教育環境整備のために活用される予定。

高校生の学びの場を提供
—文学塾を開講



文学部が主催し、高校生や高校教員に専門性の高い講義を行う「文学塾」が 3 月 23 日、渋谷キャンパスで開かれた。期間中、文学部の全 5 学科が 3 講座（哲学科のみ 2 講座）を開講。所属する専任教員が、高校生たちの知的好奇心をかきたてた。

日本文学科では、『源氏物語』をテーマに、山田利博教授ら 3 人の教員が、文学、言語学や民俗学の視点から講義を行った。

考古学が専門の青木敬准教授が担当した「古墳を発掘する」では、10 年にわたって実施している長野県安曇野市の穂高古墳群（古墳時代後期）の発掘調査成果を紹介。受講生たちは出土資料を実際に手に取り、歴史ロマンに浸っていた＝写真。

辰巳名誉教授
日本学賞受賞を記念し講演会



長年にわたる「東アジアを視点とする古代和歌・詩の本質の解明」の業績が評価され日本学賞を昨年 11 月に受賞した辰巳正明名誉教授の受賞祝賀講演会が 3 月 10 日、渋谷キャンパス常磐松ホールで開かれ、辰巳名誉教授が会長を務める「萬葉の花の会」会員ら約 200 人が集まった。

講演会では、小川直之文学部教授が『結び』の精神史—アジアから考える—と題して講演したのに続き、辰巳名誉教授が登壇した。「もう一つあった『万葉集』の読みかた」をテーマに辰巳名誉教授は、壬申の乱前夜の天智天皇、大海人皇子（天武天皇）、額田王の関係を関連する恋の歌を用いて解説し、歴史とのかかわりを紐解いた。

アナログとデジタルの関係について述べる新谷尚紀教授



「アナログの逆襲」をテーマに掲げた本学発のプレゼン・トークイベント「シブヤインテリジェンスライブ（SIL）2019」が 3 月 13 日から 3 日間、渋谷ヒカリエで開催された。

「アナログの未来」と題したパートでは、民俗学を専門とする新谷尚紀文学部教授（当時）や白馬観光開発代表取締役社長の和田寛さんが「観光」をキーワードとして「アナログ」について熱いトークを繰り広げた。この中で、新谷教授は「新しいと思われる『デジタル』だが、実は人間が『死』を発見した段階から次々と生み出してきた技術であり知識であるといえる。それ以後、『アナログ』と常に磨きあうことで人間は発展してきた」と強調。その上で「サイエンスであるデジタルの中でもアナログの大事さを磨くことが大切だ」と述べた。

一方、「五感で学べ」と題したパートでは、実際の授業に登壇するゲスト講師の座をかけた公開オーディションが行われ、各界で活躍中のビジネスパーソンがデジタル・ツール禁止の条件でプレゼンを展開。本学経済学部現役学生による投票の結果、『今』を生きていることが課題発見につながる」と述べた東急電鉄に勤める一方で作家としても活躍する森田創さん、「課題からアプローチすることが問題解決の近道」と訴えた Peatix JAPAN 共同創業者・取締役、藤田祐司さんの 2 人が講師の座を射止めた。

シチズンシップ教育をテーマに活発な議論
教育開発シンポジウム



「学士課程教育におけるシチズンシップ教育」と題した教育開発推進機構主催の教育開発シンポジウムが 2 月 16 日、渋谷キャンパス常磐松ホールで行われた。開会に先立ち、赤井益久学長（当時）は「本学の共通教育プログラム

は 2 年前に始まり、まだまだ制度、内容を鍛えていかなければならない。先生方から多様な意見をいただければ」と挨拶。

第 1 部では、広島大学・東北大学名誉教授の羽田貴史氏が「教養教育の過去・現在・未来—グローバル社会に求められる市民育成の課題」と題し、日本における教養教育の背景、シチズンシップ教育の意味などについて講演した。

続く第 2 部では、東京大学、立教大学、本学から事例報告が行われ、本学の捧剛法学部教授は「政治・法と社会参加」、そしてその次—シチズンシップ教育をめぐる国学院大学の挑戦」と題し、同学部の教育内容を基に説明を行い、現在の課題について紹介した。3 大学の事例を受け、大久保桂子副学長（当時）の進行で総合討論が行われ活発な議論が展開された。

学生部長賞に 3 団体・14 人

学生部は、学生の課外活動の助成と向上などを目的とした昨年度の学生部長賞の受賞団体と個人を決定した。今回の受賞は 3 団体と個人 14 人。

表彰式は、3 月 14 日に有栖川宮記念ホールで行われ、黒崎浩行学生部長（当時）から賞状と副賞が贈られた。受賞団体・個人は以下の通り（敬称略・順不同、所属は当時）。

◎団体の部
◆卓球部 ◆ミュージックキャラバン ◆陸上競技部長距離ブロック

◎個人の部
◆増山正芳（神文 4） ◆谷口友星（法 3） ◆千代倉英美（日文 3） ◆浦野雄平（経 3・陸上競技部） ◆藤阪泰恒（健体 4・柔道部） ◆島田隆志郎（健体 3・同） ◆長澤大雅（健体 2・同） ◆相田勇司（法 1・同） ◆工藤陽平（哲 4・硬式野球部） ◆鎌仲純平（健体 3・同） ◆伊藤雅人（経 3・同） ◆小川龍成（健体 2・同） ◆川村啓真（経 1・同） ◆中田紗楽（法 1・スポーツチャンバラ部）



「問い直す」学び大切に 「世界の標」となる大学へ

新学長

針本 正行

4月、本学教学の責任者としての一步を踏み出した針本正行学長（文学部教授）。4年間の任期中には創立140周年を迎えるなど、本学の運営に多くの重要な責務を担う。国学院大学の特色ある教育研究の在り方として、物事の「淵源を探る」学問を大切にしたいと語る新リーダー。人工知能（AI）が発達する社会にあって、「問い直す力」の大切さを説く新たなかじ取り役に、新学長としての抱負を聞いた。



はりもと・まさゆき
昭和26年12月18日生まれ、67歳。東京都出身。昭和49年、国学院大学文学部文学科卒業。54年、同大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学。文学部教授、文学部長、副学長などを経て、今月から現職。専門は平安時代文学。博士（文学）。

—— 大学教育を取り巻く社会環境が変化する中、学生に求めたい力は

AIが急速に進歩する時代にあつて、人がどのように生きる証しを立てるかが問われています。人の営みの中で大切なことの1つは「思考すること」です。AIが進化するほど、人はすべてを機械に任せ、考えることを放棄する危険性をはらんでいます。大切なことは、人がAIを手段として活用することができかどうかです。AIをどのように活用し、人の営みに資するようにしていくかは、やはり人が考えることです。AI時代であるからこそ、人は与えられたデータを疑って自分で確認し思考することが求められているのです。

大学は学びの場であり、知を探究する空間です。正解のない問題を提起された際に、与えられた条件の中で自ら資料を分析して考え、時に実験やフィールドワークをし、答えを導き出す能

力がより必要とされます。「社会人基礎

力」や「学力の3要素」などともいわれるこうした能力を持った人材を、社会は求めています。今やデータベースを調べれば簡単に探しものを見つけることができそうですが、調べる過程で無意識のうちに探しているものとは違う情報や資料に触れることも大切だと感じています。私は、この「寄り道の学問」がAIにより阻害されることを危惧しています。これからの大学は、学生が既存の知識や与えられたデータをうのみにせず、主体的に思索する精神性を育む場でありたいと考えています。

例えば、言葉の意味に正解が一つしかなければ、いつの時代も辞書や辞典がたくさん出版されることはなかったはずですが、小・中・高等学校の学習の中で教員の話や教科書に載っていることが唯一の「答え」だと思ってきた学生が多いのではないのでしょうか。大学での主体的な学びの中で、学生にはこ

法人の主な役教職員人事

法人の主な役教職員人事は次の通り。

退任

◎国学院大学北海道短期大学部学長▽田村弘
◎国学院大学久我山中学・高等学校校長▽今井寛人
(平成31年3月31日付)

新任

◎国学院大学北海道短期大学部学長▽平野泰樹(副学長)◎副学長(学長職務代行)▽太田信二(総合教養学科長)◎副学長▽山寺三知(国文学科長)

大学の主な役教職員人事

本学の主な役教職員人事は次の通り。

役職者 ※は再任

◎学長▽針本正行(任期4年)
◎副学長(学長職務代理者)▽石川則夫
◎副学長▽植村勝慶▽成田信子(以上任期4年)
◎大学院委員長▽根岸茂夫▽代表幹事▽石本道明※
◎文学研究科委員長▽根岸茂夫▽幹事▽石本道明※
◎法学研究科委員長▽坂本一登▽幹事▽高橋信行
◎経済学研究科委員長▽中泉真樹▽幹事▽細井長(以上任期2年)

◎学部◎文学部▽学部長▽石川則夫※
◎副学部長▽矢部健太郎※
◎法学部▽学部長▽一木孝之▽副学部長▽苑田真司
◎経済学部▽学部長▽橋元秀一※
◎副学部長▽根岸毅宏※
◎神道文化学部長▽西岡和彦▽副学部長▽笹生衛
◎人間開発学部▽学部長▽成田信子▽副学部長▽藤田大誠(以上任期2年)
◎研究開発推進機構▽機構長▽武田秀章
◎研究開発推進センター▽センター長▽阪本是丸※(在任期間)
◎日本文化研究所▽所長▽平藤喜久子※
◎学術資料センター▽センター長▽笹生衛※

法人の主な役教職員人事

◎国学院高等学校校▽副校長▽中村彰伸(教頭)◎教頭▽杉田隆時(図書部長)

◎国学院大学久我山中学・高等学校校▽校長▽國清英明(副校長)◎副校長▽高橋秀明(教頭)◎内部監査室▽室長(嘱託)▽田中裕介

再任・異動

◎法人事務局長・内部監査室長兼務を解く▽橋本憲市郎(法人参事)
◎法人参事▽白川博一(大学事務局長)
(平成31年4月1日付)

◎校史・学術資産研究センター▽センター長▽根岸茂夫※
◎国学院大学博物館▽館長▽笹生衛※
◎古事記学センター▽センター長▽谷口雅博※(以上任期2年)
◎教育開発推進機構▽機構長▽野呂健▽副機構長▽東海林孝一※
◎教育開発センター▽センター長▽野呂健▽共通教育センター▽センター長▽榎剛
◎学修支援センター▽センター長▽東海林孝一※
◎教職センター▽センター長▽野呂健
◎英語教育センター▽センター長▽久保田正人(以上任期2年)
◎専攻科長▽武田秀章
◎別科長▽茂木貞純※
◎学生部長▽森川隆
◎教務部長▽山田佳弘
◎入学部長▽小田勝
◎就職部長▽田原裕子
◎国際交流推進部長▽岩瀬由佳
◎たまプラーザキャンパス長▽成田信子
◎情報センター長▽坂本正徳※
◎図書館長▽遠藤潤
(以上任期2年)

昇格異動等

◎文学部▽教授▽浅井理恵子▽齋藤智哉▽高橋秀樹▽高山実佐▽

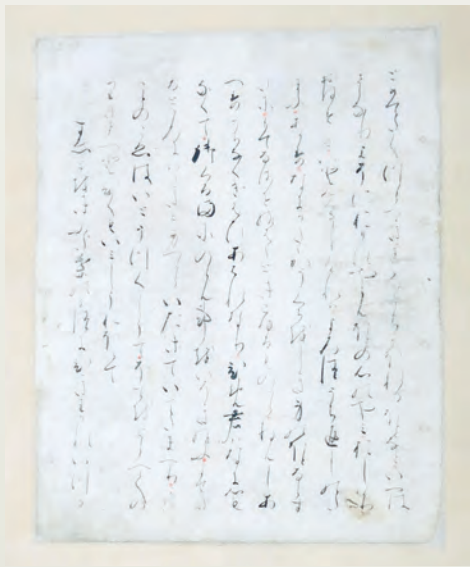


新学長の横顔

古筆切の収集家

『源氏物語』を主な研究分野とする針本正行学長は、関連する絵巻物や古筆切の収集家としても学内で知られ、その数は100点を超える。趣味ではなく、「あくまでも研究の一環」と話す針本学長。「今から約1000年前に成立したとされる『源氏物語』ですが、作者紫式部が書写した原本は、現在、残っていません。原本に時代の近い鎌倉・室町時代の古筆切を集めることは、原本を探り、作品を読み解く一つの方法です。『源氏物

語』に多くの研究成果や現代語訳がありますが、古典文学は書写された時代や書写した人によって表現が変わり、書写されたものは、それぞれ違った作品ともいえます。古筆切に触れることは古典文学の解釈が多様であることを教えてくれます。学生にも、古筆切に触れ、古典を実感する一助になればと思っています。古筆切収集にも、「淵源を探る」という針本学長らしいこだわりが表れているようだ。



針本学長所蔵の伝藤原為家筆
源氏物語切「薄雲」巻（鎌倉時代写）

これまで「正解」とされてきたことを素朴に疑い「問い直す力」を培ってほしいと切に願っています。

——「21世紀研究教育計画(第4次)」についての考えは

今年度は5年計画の3年目にあたり、実現に向けて推進していく所存です。中でも、第4次計画では将来像に「人文・社会科学系の『標』となる」と掲げています。この将来像の示すものは、「世界の標」となる大学であることにつながると捉えています。世界の学生に、「日本人の精神性を学ぶ」とこそが、世界の問題の解決にもつながる」と思ってもらえるような大学づくりに努めたいです。

平成14年度に文学部から神道学科が独立して神道文化学部になり、21年度には人間開発学部ができました。この20年足らずの間に2つの学部が新設されたわけです。新しい学部ができることは、既存の学部にとっても刺激となります。新学部構想は、歴代の学長がそれぞれの思いを込めてきましたから、学長にとっては宿命的な課題です。私も建学の精神を踏まえながら、新しい時代も見据えた学部を構想し、実現していきたいと念じています。

——国学院大学として、こだわりたい教育は

本学の母体である皇典講究所の初代総裁有栖川宮熾仁親王は、明治15年11月の開校式で、教職員、生徒に対して、「凡學問ノ道ハ本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ」と告諭を述べられました。私は、この言葉から本学の学問には「淵源を探る」という姿勢があると考えています。物事の始まりをたどることは、国の歴史や文化、人の心の軌跡を知る手立てです。

明治23年7月に公表された「国学院設立趣意書」には、「自国の在り方を確認したうえで、世界の学問全般について学修すべきである」との一節があります。これは、日本の在り方を理解するためにも、まずは日本の文化や歴史を学んだ上で、他国の在り方を学び、そしてもう一度、自国の在り方に立ち戻ることが大事であるということです。このことは、自分の知の歴史を確認することにもつながります。人は他者との関わり合いの中で生きていて、自分の存在意義は他者を慮ってこそ生まれるのです。

来年の東京五輪・パラリンピックを控え、海外から日本文化に注目が集ま

歴代院長・学長			
●院長			
	高崎 正風	明治23年11月～	26年12月
	國重 正文	27年 1月～	29年 6月
●院長・学長			
侯 爵	佐佐木高行	29年 6月～	43年 3月
●学長			
伯 爵	芳川 顯正	43年 3月～	44年 3月
侯 爵	鍋島 直大	44年 3月～	大正7年 4月
伯 爵	土方 久元	7年 4月～	7年11月
(事務取扱)	桑原 芳樹	7年11月～	7年12月
文学博士	芳賀 矢一	7年12月～	昭和2年 2月
(事務取扱)	江木 千之	2年 2月～	3年 3月
文学博士	上田 万年	3年 3月～	3年12月
(事務取扱)	桑原 芳樹	3年12月～	4年 2月
文学博士	服部宇之吉	4年 2月～	8年 7月
(事務取扱)	副島 知一	8年 7月～	8年10月
文学博士	市村瓊次郎	8年11月～	10年 3月
文学博士	河野 省三	10年 4月～	17年 2月
侯 爵	佐佐木行忠	17年 2月～	21年 8月
	石川 岩吉	21年 8月～	34年 9月
	佐佐木行忠	34年 9月～	45年 3月
文学博士(学長代理)	佐藤 謙三	44年10月～	45年 3月
文学博士	佐藤 謙三	45年 4月～	50年 1月
文学博士(学長代行)	吉川 泰雄	50年 1月～	50年 3月
文学博士	吉川 泰雄	50年 4月～	62年 3月
文学博士	春田 宣	62年 4月～	平成7年 3月
文学博士	上田 賢治	7年 4月～	11年 3月
Ph.D.	阿部 美哉	11年 4月～	15年12月
博士(文学)(学長代行)	青木 周平	15年12月～	16年 3月
文学博士	安蘇谷正彦	16年 4月～	23年 3月
博士(文学)	赤井 益久	23年 4月～	31年 3月
博士(文学)	針本 正行	31年 4月～	

っています。本学としては、日本の伝統文化や神道精神を発信すると同時に、それらを体験してもらうことを通して、私たちが世界の国々の文化を享受したいと考えています。文化を発信するだけではなく、世界の文化を受信する機会にもしたいものです。

——4年間の学修は人生の大きな糧になります

私は、現在の研究分野である『源氏物語』を学ぼうと国学院大学に入学し、「源氏物語研究会」に所属しました。学内の図書館へ行くと、いつも研

究会の先輩がいて、どの本を読めばいいかなど多くのことを教えていただきました。

本学には、授業以外にも「問い直す力」を伸ばす学びの場が多くあります。学びがいつでもどこでもできる環境をさらに展開していきたいです。学生には4年間の学修の積み重ねを通じて卒業後、「自分の知の蓄積のきっかけをつくってくれた生みの親であるのが国学院大学だ」と思ってもらえるよう、「母校」と誇れる大学を構築していきたいと考えています。

- 福井崇史◆准教授▽青木洋司▽手塚雄太
- ◎経済学部◆准教授▽紺野由希子▽藤山圭
- ◎人間開発学部◆教授▽林貢一郎
- ◎研究開発推進機構◆准教授▽渡邊卓
- 〔大学事務局〕
- ◎大学事務局長▽武智浩二(総務部長)
- ◎総務部長・たまプラーザ事務部長兼務▽城所俊哉(総合企画部長・たまプラーザ事務部長兼務)
- ◎総合企画部長▽滝田忠之(総合企画部企画・エクステンション事業担当部長)
- ◎総務部人事担当部長▽長谷川顕子(総務部人事担当次長)
- ◎財務部長・経理課長兼務▽中村大介(財務部次長)
- ◎教学事務部長▽仙北谷穂高(教学事務部次長)
- ◎たまプラーザ事務部次長・たまプラーザ事務部たまプラーザ事務課長兼務▽島村昌利(たまプラーザ事務部たまプラーザ事務課長)
- ◎総務部人事課長▽小林博毅(教学事務部教育開発推進機構事務課教職担当課長▽人見剛(たまプラーザ事務部たまプラーザ事務課教学・就職担当課長)
- ◎総務部総務課担当課長▽安西晴美(総務部総務課長補佐)
- 移籍
- 〔教員〕
- ◎人間開発学部◆教授▽塩谷香◆准教授▽笹田弥生(子ども支援学科から健康体育学科へ)
- 新任(任期延長含む)
- 〔教員〕
- ◎文学部◆教授▽大石泰夫▽三井はるみ◆教授(特別専任)▽赤井益久◆准教授▽野村ひかり▽新藤透◆助手▽大日方一郎
- ◎法学部◆教授▽上神貴佳▽長又高夫◆専任講師▽佐藤俊輔
- ◎経済学部◆准教授▽木村秀史
- ◎神道文化学部◆助教▽鈴木聡子
- ◎人間開発学部◆准教授▽青木康

- 太朗▽千野謙太郎◆助教▽中野圭祐
- ◎研究開発推進機構◆助教(特別専任)▽高野裕基▽武田幸也
- ◎教育開発推進機構◆教授▽澤田浩一▽土肥充◆准教授▽加納なおみ
- ◎新学部設置準備室◆助教▽児玉千絵
- ◎客員教授▽嵐山光三郎▽岩下尚史▽北澤豪▽久保田るり子▽さだまさし▽佐藤美穂▽東儀秀樹▽徳川恒孝▽平林岳▽松平定知(以上令和2年3月31日まで)
- 〔大学事務局〕
- ◎専任▽学生事務部キャリアサポート課書記▽秋野智子(学生事務部キャリアサポート課嘱託)
- ◎学術メディアセンター事務部研究開発推進機構事務課(博物館嘱託学芸員)▽同▽佐々木理良(同)▽財務部経理課(試用期間)▽岡村大博▽教学事務部教務課(試用期間)▽会田優介▽教学事務部教育開発推進機構事務課(試用期間)▽関口奨之▽国際交流事務部国際交流課(試用期間)▽島田由樹子
- ◆嘱託▽総務部総務課嘱託▽久保田裕美▽たまプラーザ事務部たまプラーザ事務課嘱託▽星美由紀▽学生事務部学生生活課保健室嘱託(保健師)▽村山こころ
- ▽学生事務部学生生活課学生相談室嘱託▽石田真由子▽学生事務部学生生活課学生相談室嘱託(学修支援相談員)▽星野久子
- ◆期間契約職員▽総務部付(校友課勤務)▽真鍋和孝(平成31年4月1日付)
- 退職
- ◆自己都合
- ◎文学部◆教授▽赤井益久
- ◆期間満了
- ◎嘱託▽学生事務部学生生活課学生相談室嘱託▽伊藤朱真理▽学生事務部学生生活課学生相談室嘱託(学修支援相談員)▽柴田昌子(平成31年3月31日付)

新任専任教職員紹介

4 月、本学に着任した専任の教職員のプロフィールを紹介する。丸数字は①略歴②抱負。

文学部

◆教授 大石泰夫 (おおいし やすお)



①国学院大学大学院文学研究科博士課程後期満期退学。博士（文学）。盛岡大学文学部教授を経て現職。
②平成元年 3 月に大学院を満期退学して、平成最後の 4 月に母校に戻ってきました。私は、民俗と文学の伝承性について研究してきました。今、目の前にある民俗や文学をしっかりと捉え、その伝承性を明らかにしていくことを、学生諸君と一緒に考えていきたいと思っています。

三井はるみ (みつい はるみ)



①東北大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学。昭和女子大学講師、国立国語研究所主任研究員などをを経て現職。
②方言の研究をしています。ことばの多様性の生まれ方に興味があり、全国の方言の文法的特徴の対照研究や、首都圏の若年層のことばの地域差調査などを行ってきました。学生とともに新たなテーマに取り組みたいと思っています。

◆准教授 野村ひかり (のむら ひかり)



①筑波大学大学院芸術研究科修士課程修了。国学院大学兼任講師を経て現職。
②漢字書道を専門としています。長い歴史の中で培われてきた書の名品についての調査研究を行うとともに、それらを背景とした作品制作に取り組んでいます。学生の皆さんが、一生の財産となる自分自身の文字について、個性を尊重した美しさの追求ができるよう、お手伝いいたします。

新藤透 (しんどう とおる)



①筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了。博士（学術）。武蔵野学院大学助手、山形県立米沢女子短期大学専任講師、准教授、東北福祉大学准教授を経て現職。
②図書館情報学、特に日本図書館文化史を専攻しています。現在は近代図書館における「選書論」について研究を進めています。学生には図書館司書という職業の面白さを伝えたいと思います。

◆助手 大日方一郎 (おびなた いちろう)



①国学院大学大学院文学研究科博士課程前期修了。茨城大学人文社会学部非常勤講師、国学院大学研究開発推進機構研究補助員、神奈川県川崎市文化財課嘱託職員を経て現職。
②中国考古学が専門で、周代の墓制について研究しております。本学は日本考古学が主流ではありますが、比較対象として中国の情報を提供することで、学生の研究をお手伝いできればと思います。

法学部

◆教授 上神貴佳 (うえかみ たかよし)



①東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。博士（法学）。東京大学助手、高知大学准教授、岡山

大学教授などを経て現職。
②政治学、とりわけ現代日本の政治、比較政党政治の研究が専門です。伝統ある本学で（広義の）日本に関する教育・研究に携わる機会を頂戴し、光栄に存じます。よろしく願いいたします。

長又高夫 (ながまた たかお)



①国学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。博士（法学）。身延山大学仏教学部教授を経て現職。
②本学において伝統ある法制史の講義を担当します。専門は前近代の法典編纂史です。法文化を中心に、現代につながるわが国の文化の特徴を多角的に紹介していきたいと思っています。

◆専任講師 佐藤俊輔 (さとう しゅんすけ)



①ブリュッセル自由大学人文社会科学研究科博士課程、ジュネーブ大学法学研究科博士課程修了。博士（政治学）、博士（法学）。日本国際問題研究所研究員を経て現職。
② EU・ヨーロッパ外交の研究を専門としています。学生の方々が広く国際的な視野を得て、日本で、世界で活躍されるために貢献できればと思っています。

経済学部

◆准教授 木村秀史 (きむら しゅうし)



①国学院大学大学院経済学研究科博士課程後期修了。博士（経済学）。㈱第四銀行、島根県立大学総合政策学部准教授を経て現職。
②国際金融論が専門で、研究テーマは発展途上国の通貨統合論です。お世話になった母校に奉職できることを大変うれしく思います。同時に、国学院の発展に貢献できるよう力を尽くしてまいります。

神道文化学部

◆助教 鈴木聡子 (すずき さとこ)



①国学院大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（神道学）。本研究開発推進機構助教（特別専任）、本学神道文化学部兼任講師を経て現職。
②歴史ある母校に奉職することができ、光栄に存じます。また、同時に責任の重さを感じております。本学の建学の精神のもと、精一杯努めてまいります。

人間開発学部

◆准教授 青木康太郎 (あおき こうたろう)



①大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科修士課程修了。北翔大学准教授、国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター研究員を経て現職。
②専門は野外教育や安全教育、レクリエーションです。自然体験や外遊びなど自分の専門性を生かして、本学の幼稚園教諭・保育士の養成に寄与できるよう務めたいと思います。

千野謙太郎 (ちの けんたろう)



①東京大学大学院博士課程単位取得退学。博士（学術）。国立スポーツ科学センター研究員、東京大学大学院助教、一般社団法人スポーツおきなわパフォーマンスディレクターを経て現職。
②これまではバイオメカニクスや運動生理学の観点から骨格筋の形状と機能に関する研究を行ってきました。今後は本学の学生と共にトレーニング科学の観点から身体機能の変化を捉える研究を行いたいと思っています。

◆助教 中野圭祐 (なかの けいすけ)



①東京学芸大学大学院教育学専攻科修了。東京学芸大学附属幼稚園勤務を経て現職。
②国学院大学の豊かな環境の中で、幼児と音楽のあり方を研究していきたいです。現場での経験を生かし、学生たちにも実践的な指導を行なっていきたいと考えています。ご指導ご鞭撻の程よろしくをお願いします。

教育開発推進機構

◆教授 澤田浩一 (さわだ こういち)



①東北大学大学院博士課程前期修了。茨城県立高等学校教諭、文部科学省教科調査官・国立教育政策研究所教育課程調査官を経て現職。
②社会科・公民科および道徳科の教育法などを担当します。新しい学習指導要領を深く理解し、これからの学校で求められる授業力が身に付けられるようお手伝いしたいと思います。

土肥充 (どい みつる)



①千葉大学大学院自然科学研究科博士課程修了。博士（学術）。千葉大学国際教養学部准教授などを経て現職。
②英語教育が専門です。英語教育センター発足と同時に本学に着任でき、光栄です。英語教育の改善は簡単なことではありませんが、教職員や学生の皆さんのご協力を得ながら、本学の発展に尽くしたいと思います。

◆准教授 加納なおみ (かのう なおみ)



①コロンビア大学 ティーチャーズ・カレッジ大学院国際異文化研究学部国際教育開発学研究科博士課程修了。博士（教育学）。お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科専任講師を経て現職。
②伝統ある国学院大学で皆さんと学びながら、21世紀に相応しいリテラシー教育のあり方を探究していきたいと思っています。

大学事務局

◆学生事務部キャリアサポート課書記 秋野智子 (あきの ともこ)



①武蔵野大学人間科学部卒業。一般企業人事部において新卒・中途採用業務、人材ビジネス業界で幅広い年齢層の転職支援を経験した後、本学嘱託勤務を経て現職。豪州生活経験あり。国家資格キャリアコンサルタント・認定心理士。
②伝統ある国学院大学に奉職でき光栄に存

じます。民間企業での経験を最大限学生に還元し、本学発展のために精進してまいります。

◆学術メディアセンター事務部研究開発推進機構事務課（博物館学芸員） 網谷哲成 (あみたに のりまさ)



①国学院大学神道文化学部卒業。平塚八幡宮神職、日々神社神職、本研究開発推進機構研究開発推進センター研究補助員、本学博物館嘱託学芸員を経て現職。
②伝統ある母校に奉職できることをうれしく思います。建学の精神を大切に、国学院大学のさらなる魅力を発信できる博物館を目指し、本学のより一層の発展のために力を尽くしてまいります。

佐々木理良 (ささき りら)



①上智大学文学部史学科・同大学院博士前期課程修了。旅行社にて専門解説員、一般企業にて広報職、本学博物館嘱託学芸員を経て現職。
②日本文化の研究教育拠点として格式を誇る国学院大学での職務を大変誇りに思います。大学における博物館の役割を常に意識し、より一層の発展のため尽力してまいりたいと思います。

◆財務部経理課 岡村大博 (おかむら まさひろ)



①平成31年 3 月国学院大学経済学部卒業。
②母校の国学院大学で働くことをとても光栄に思います。新入職員として元気、誠実、素直の 3 つを心掛け何事にも全力で仕事に取り組んでいます。大学の根幹を支える経理課で一日一日を大切に、いつまでも初心を忘れず職務を全うします。

◆教学事務部教務課 会田優介 (あいた ゆうすけ)



①平成31年 3 月国学院大学経済学部卒業。
②多くの学生に国学院大学での生活が最も自分自身が輝けた場所だったと思ってもらえるように精一杯学生のサポートに努めてまいります。また、院友の視点を活かし、あらゆるステークホルダーに本学の魅力の多くを発信していきたいと考えています。

◆教学事務部教育開発推進機構事務課 関口奨之 (せきぐち しょうの)



①平成31年 3 月東洋大学文学部卒業。
②伝統ある国学院大学で働くことを大変誇りに思います。右も左もわからない新人ですが、先輩方の仕事ぶりから多くを吸収し 1 日でも早く皆様のお力になれるように日々精進しますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

◆国際交流事務部国際交流課 島田由樹子 (しまだ ゆきこ)



①平成31年 3 月上智大学法学部卒業。
②歴史ある国学院大学で働くことを大変嬉しく思っています。新人として国際交流課の業務をスポンジのように吸収して 1 日でも早く覚え、今後の大学発展に尽力していける人材となれるよう精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

経済学部生が運営に参加 渋谷川沿いで花見イベント

昨年新たに整備された渋谷川沿いの遊歩道で3月1、2の両日、渋谷区内の大学生で構成される「渋谷学生ボランティアワークショップ」のメンバーが企画した「さくらホッとこたつ@渋谷川」が開催された。同ワークショップには本学経済学部生が参加しており、会場の運営に携わった。

見頃を迎えた河津桜が並ぶ川沿いの会場にはこたつが設置され、周辺にはキッチンカーも出店。来場者は暖をとりながら、夕闇に映える薄紅色の桜を楽しんだ。



団体・個人の成績

ソフトテニス部＝関東シングルスソフトテニス選手権大会が3月10日、千葉県総合スポーツセンター（千葉県稲毛市）で行われ、同部から男女4人が出場した。男子シングルスでは、谷岡凌太郎選手（健体2＝当時）が予選リーグを3連勝で突破。上位16人による決勝トーナメントでは、社会人、大学生の強豪との熱戦を制して初優勝を飾った。

同大会は、社会人、大学生、高校生のシングルスプレーヤーが参加した大会で男女各64人が出場した。



スキー部＝第92回全日本学生スキー選手権大会が1月30日に田沢湖スキー場国体コース（秋田県仙北市）で、2月19～23日に長野県野沢温泉村でそれぞれ行われた。男女ともに2部に所属する同部は、男子3×5kmリレーで2位に入るなど健闘したが、男子が総合4位、女子は総合28位に終わった。

強化部会主なスケジュール(4・5月)

硬式野球部＝東都大学野球春季1部リーグ戦対亜細亜大①（4／30(水)・神宮球場）、同②（5／1(水)・同）、対駒澤大①（5／9(木)・同）、同②（5／10(金)・同）、対中央大①（5／21(火)・同）、同②（5／22(水)・同）

柔道部＝2019年度東京学生柔道優勝大会（5／26(日)9：30・日本武道館）

剣道部＝第65回関東学生剣道選手権大会（5／12(日)・日本武道館）、第51回関東女子学生剣道選手権大会（5／18(土)・東京武道館）

蹴球部＝東京都大学サッカーリーグ戦1部対東京経済大（4／21(日)）、対上智大（4／28(日)）、対山梨学院大（5／5(日)）、対帝京大（5／12(日)）、対学習院大（5／26(日)）時間・場所は同部HPなどで確認を。

卓球部＝関東学生新人選手権大会（5／3(金)～4(土)・座間市立市民体育館）、関東学生卓球春季リーグ戦 男子2部・女子2部（5／10(金)～12(日)・所沢市民体育館）

快挙を喜ぶ部員たち(ドリル競技部SEALS提供)



ドリル競技部SEALSが3月26日に幕張メッセ（千葉市）で開催された第23回チアリーディング&ダンス全国選手権大会「USANA ショナルズ2019」に2チームに分かれて出場し、大学編成Pom部門Smallで2年ぶりの優勝に輝いたほか、同部BlueAsterが3位に入る活躍を見せた。

昨年の同大会では、2位だった同部は、今年2チームに分かれて予選を勝ち進んだ。14人の選手がボンボンを使った振り付けや、チームワークを生かした一体感のあるラインダンスを披露し、会心の演技で大きな歓声を浴びた。

同部門2位には立教大学が入った。

日本学生ハーフマラソン選手権 土方選手4位、浦野選手5位

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。

今年8月にイタリア・ナポリで開かれるユニバーシアードの代表選考を兼ねた日本学生ハーフマラソン選手権が3月10日、立川市で行われた。本学陸上競技部からは15人が出場。上位3人に与えられるユニバーシアードの出場をかけて陸上自衛隊立川駐屯地から市街地、昭和記念公園を駆け抜けた。



自己ベスト更新の快走をみせた土方英和選手(右)

昨秋優勝・立正大抑え 好発進

東都大学野球春季リーグ開幕

東都大学野球春季1部リーグ戦が4月8日、東京都新宿区の神宮球場で開幕した。本学硬式野球部は、昨秋優勝の立正大学との対戦となった第1週を2連勝で終え、勝ち点1と好発進した。

8日に行われた1回戦。二回2死一、二塁から9番・平古場祐作捕手(経ネ3)の二塁打で2点を挙げ、先制した。四回2死一、三塁から1番・貞光広登主将(経4)の適時打でさらに1点を奪い、五回2死二塁から6番・伊藤雅人内野手(経ネ4)の本塁打で2点を追加。四回と九回に得点を与えたものの、先発の右腕、横山楓投手(健体4)ら4人の継投で5―3と先勝した。



翌9日に行われた2回戦では、一回先制を許したが、三回1死一、二塁から2番・小川龍成内野手(健体3)の三塁打などで3点を挙げて逆転した。五回に1点を与えたものの、九回には4番・鎌仲純平外野手(健体4)の本塁打で1点を追加。先発の右腕、吉村貢司郎投手(経4)ら2人の継投で4―2と連勝した。

若木育成会



「支部の集い」にご出席を

☑ 本学の学部・専攻科・別科在学生
(外国人留学生除く) の保護者らで

組織される若木育成会では、「支部
の集い」を 5 月下旬 から開催しま
す。本学の現況、学修・就職状況な
どの説明に加え、疑問や悩みについ
て個別面談でも対応します。新入生
の保護者にとっては本学を知る初め

ての機会ですので、ぜひご出席くだ
さい。

☑ 日・時・場別表参照

☑ 開催 1 カ月前頃に案内状を郵送しま
すので、若木育成会 H P (https://
www.kokugakuin.ac.jp/student/

ikuseikai/p5/p1) から申し込んで
ください。

☑ 園校友課 (☎03・5466・0131)

※詳細は上記の若木育成会 H P で確認
を

若木育成会「支部の集い」スケジュール

支 部 名	日 程	時間	会 場
北海道道北	6月 1日(土)	14:00	ホテルWBF グランデ旭川
北海道道東	6月30日(日)	13:00	釧路ロイヤルイン
北海道道央	6月 2日(日)	14:00	北海道神宮頓宮
北海道道南	6月23日(日)	14:00	ホテル函館ロイヤル
青 森 県	6月22日(土)	13:00	ウェディングプラザアラスカ
岩 手 県	8月 4日(日)	13:30	盛岡地域交流センター「マリオス」
宮 城 県	5月25日(土)	13:00	ホテル JAL シティ仙台
秋 田 県	8月 3日(土)	12:20	秋田ビューホテル
山 形 県	5月26日(日)	13:00	大手門パルズ
福 島 県	8月 4日(日)	13:00	郡山ビューホテル
茨 城 県	7月28日(日)	13:00	三の丸ホテル
栃 木 県	6月23日(日)	13:00	サンプラザ
群 馬 県	5月26日(日)	13:30	高崎ワシントンホテルプラザ
埼 玉 県	7月 7日(日)	13:00	渋谷キャンパス
千 葉 県	6月 9日(日)	13:00	渋谷キャンパス
東京都第一	6月 2日(日)	10:00	渋谷キャンパス
東京都第二	6月 2日(日)	10:00	渋谷キャンパス
東京都第三	6月 2日(日)	10:00	渋谷キャンパス
東京都第四	6月 2日(日)	10:00	渋谷キャンパス
神 奈 川 県	7月20日(土)	11:00	渋谷キャンパス
新 潟 県	5月25日(土)	13:00	新潟東映ホテル
富 山 県	6月15日(土)	14:00	富山第一ホテル
石 川 県	6月30日(日)	14:00	ホテル金沢
福 井 県	6月29日(土)	14:00	福井フェニックスホテル
山 梨 県	7月14日(日)	13:00	かいてらす山梨県地場産業センター
長野県東北信	6月16日(日)	13:00	ホテル信濃路 (HOTEL SHINANOJI)
長野県中南信	7月13日(土)	13:00	ホテルモンターニュ松本
岐 阜 県	7月28日(日)	13:00	岐阜キャッスルイン

支 部 名	日 程	時間	会 場
静岡県東部	6月30日(日)	13:00	ホテル・エルムリージェンシー
静岡県中部	6月29日(土)	13:30	中島屋グランドホテル
静岡県西部	7月27日(土)	13:00	ホテルクラウンパレス浜松
愛 知 県	7月21日(日)	13:00	キャッスルプラザ
三 重 県	7月20日(土)	14:00	ホテルグリーンパーク津
滋賀県・京都府	6月23日(日)	14:00	新・都ホテル
大 阪 府	7月 7日(日)	13:00	あべのハルカス近鉄本店25階
兵 庫 県	7月13日(土)	14:00	生田神社会館
奈 良 県	6月22日(土)	13:00	春日大社 感謝共生の館
和 歌 山 県	7月 6日(土)	14:00	和歌山県民文化会館
鳥 取 県	6月 9日(日)	10:30	国際ファミリープラザ
島 根 県	6月 8日(土)	13:00	ニューウェルシティ出雲
岡 山 県	7月14日(日)	13:30	ピュアリティまきび
広 島 県	7月15日(月・祝)	13:00	広島ガーデンパレス
山 口 県	6月16日(日)	13:00	遠石会館
徳 島 県	6月 8日(土)	15:00	ザ・グランドパレス
香 川 県	8月 3日(土)	13:00	高松東急 REI ホテル
愛 媛 県	8月 4日(日)	14:00	国際ホテル松山
高 知 県	6月 9日(日)	13:00	オリエントホテル高知
福 岡 県	6月15日(土)	13:00	オリエンタルホテル福岡 博多ステーション
佐 賀 県	7月27日(土)	14:00	グランデはがくれ
長 崎 県	7月28日(日)	13:00	諫早観光ホテル道具屋
熊 本 県	6月16日(日)	14:00	ホテル日航熊本
大 分 県	7月14日(日)	14:00	JR九州ホテルブラッサム大分
宮 崎 県	7月13日(土)	14:00	宮崎観光ホテル
鹿 児 島 県	6月15日(土)	13:30	ホテル吹上荘
沖 縄 県	7月 6日(土)	14:00	パシフィックホテル沖縄

「教育とは何か」とは何か

教職課程を担当し、「教育
とは何か」を話す立場にあり
ながら、私にとって「教育と
は何か」は難問である。過去
の人々が「教育」をどう捉え
たのか、ならば、話せるのだ
が。

しかし、現在の教育改革
は、それまでの「教育」像を
大きく転換しようとしている
点において、社会全体がこの
問いに向き合っているという
ことではないか、とも考える
。「主体的、対話的で深い
学び」を掲げ、授業の方式に
まで言及した新学習指導要領
からみてとれるのは、新たな
「教育」像の模索が必要だと
いう危機感である。

あらためて「教育」の意味
が問われる時代において、私
はまだ「教育とは」につなが
る言葉を明確に見いだしてい
ない。ただ、教育学・教育史
研究の知見からいえば、「教
育とは」の後に、「希望」と

いう言葉を続けたいという思
いがある。

現在、平成のはじめに閉校
したある山間部の小学校に関
する資料を調査している。産
業構造の変化により地域社会



若木が丘
だより

文学部 准教授
多和田 真理子

が大きな影響を受けているさ
まが、淡々と過ぎゆく学校生
活の中にも浮かび上がる。調
査中、1970年頃の学校運
営資料を読んでいる、その中
の「学校が地域の文化センタ
ーである」との言葉に目がと
まった。続きには、学校を文
化的な中核とし、教育を通し
て、子どもたち、そして地域
の将来を拓くことへの切実な
希望が書かれていた。

これは単に一地域の過去の
話ではなく、ある意味で教育
の本質を言い当てている。私
たちは、将来の「何か」に役
立つために学ぶことを考えが
ちなのだが、本当は、学ぶこ
とそのものが希望であり、学
びの場があることが希望でも
ある。教育は、そういう学び
を支える行為であり、希望を
つなぐ営みだといえる。こう
した史料や先人の言葉を手が
かりに、今後も真摯に、問い
に向き合いたいと思う。

個人情報の
取り扱いについて

「国学院大学学報」を編集
する広報課では、「国学院大
学個人情報の保護に関する規
程」に基づいた上で、マスメ
ディアの報道で得た情報、当
課で独自に取材した情報、本
学学生生活課に報告された学
生団体・個人の大会成績・企
画書などによるコンテストの
結果などを、本人の承諾を得
て本紙や本学ホームページを
はじめ当課が扱う広報媒体で
公表しています。

総合企画部広報課

本紙へのご感想をお待ちしています

「国学院大学学報」では、読者の皆さまからのご意見・ご感想を募
集しています。定期的に本紙にて「読者の声」を紹介していく予定で
す。掲載された方には、本学オリジナルグッズを進呈いたします。ご
投稿は以下の要領をお願いします。

①今号の満足度 5 段階 (低 1 ～ 5 高) ②本紙へのご意見③住所④氏名
⑤所属など (在学生の場合 〈学科・学年〉、保護者、院友 〈本学卒業
生〉、本学・本法人教職員、その他いずれか) を明記の上、ハガキ・
F A X で国学院大学広報課 (連絡先は 1 面参
照) までお送りください。また、Q R コード
より E メール作成画面を開くことができま
す。なお、お送りいただいた方の個人情報は
法令に基づいて取り扱いいたします。
※お寄せになられた原稿・お便りは返却いた
しません



インフォダイジェスト

… 在学生

… 保護者

… 卒業生

… 一般

… 受験生

内容

日にち

時間

場所

対象

申し込み

料金

問い合わせ

大学からのお知らせ

教育充実資金（維持費）のお願い

内 本学では、財政を確立し教学内容の維持・充実を図る目的で新入生の保護者らを対象に教育充実資金（維持費）のご寄付をお願いしています。任意ではありますが、さらなる教育・研究の向上のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

料 一口20万円
申 振込締切は 7 月31日(水)
問 総務課（☎03・5466・0111）

健康診断の結果および健康診断証明書の発行について

内 今年度の健康診断の結果は 5 月 9 日(木)以降、K-SMAPY II の学籍情報照会にて確認できます。各種実習、就職活動などで使用する健康診断証明書は、5 月 9 日(木)から、証明書自動発行機で発行可能です（1 部200円）。※再検査を受けていないなど所見がある場合、保健室へお越しください

問 保健室（☎03・5466・0148）

夏期短期留学の参加者募集

内 本学では集中的に語学を勉強する留学入門プログラムとして実施する夏期短期留学の参加者を募集します。※日程は 3 月末時点の予定。国内・国際情勢や参加者数によっては、変更・中止される場合があります。詳細は本学 H P（<https://www.kokugakuin.ac.jp/student/abroadstudy/p1/p3>）で確認を

◆英語圏

- ▶ アイルランド、ダブリンシティ大学… 8 月10日～9 月 8 日
- ▶ カナダ、マニトバ大学

… 8 月 5 日～9 月 1 日
▶ カナダ、ケープブレトン大学
… 8 月21日～9 月19日

◆中国語圏

- ▶ 台湾、南台科技大学
… 8 月11日～9 月10日

◆その他の言語圏

- ▶ ドイツ、デュースブルク＝エッセン大学… 8 月10日～9 月 1 日
- ▶ フランス、西部カトリック大学
… 8 月 4 日～9 月 1 日

申 5 月10日(金)までに本学 H P の夏期短期留学ページからオンライン申請
問 国際交流課（☎03・5778・7061）

イベント 30

就活スタートガイダンス①

内 新 3 年生を対象に就職活動の流れと、インターンシップの参加方法を説明します。必ず参加し今後の就職活動の計画を立てましょう。また、就職活動の必須ツールの就職サイト（C S 課推薦の大手就職情報会社 4 社）の特徴説明・一括登録を行います。このガイダンスでは通常有料の SPI 模擬試験を無料配布します。

日・時 5 月13日(月) 6 限、14日(火) 6 限、15日(水) 3・5 限
対 3 年生

申 K-SMAPY II より申込

オープンキャンパス

内 本学は、「学びたい・知りたい」という意思のある人へ常に開放的でありたいと思っています。オープンキャンパスでは大学の息遣いを直接感じることができます。行動した人だけが分かる本学の価値に気づくはずで

日・時 6 月 2 日(日)10時～16時
場 渋谷・たまプラーザ両キャンパス
問 入学課（☎03・5466・0141）

日 5 月11日(土)
時 14時～15時（定員250人）
場 常磐松ホール

申 博物館 H P（http://museum.kokugakuin.ac.jp/event/detail/2019_waka_lecture.html）の申し込みフォームか往復はがきに郵便番号、住所、氏名（フリガナ）電話番号、「和歌万華鏡」講演会参加と明記し、〒150-8440 東京都渋谷区東 4 -10-28 国学院大学博物館へ申し込む。定員になり次第締め切り。

ミュージアムトーク

※場所はいずれも博物館ホール。参加無料。

- ① 5 月25日(土)14時～14時45分
講師：荒木優也・本学客員研究員
- ② 6 月 1 日(土)14時～14時45分
講師：荒木優也・本学客員研究員
- ③ 6 月15日(土)14時～14時45分
講師：渡邊卓・本学准教授

※博物館関連イベントの問い合わせは
☎03・5466・0359

進学相談会一覧（5・6 月開催分）

都道府県	都 市	会 場	日 付	時 間
北海道	札 幌	ベルヴェオフィス札幌	6 月22日(土)	10:00～17:00
宮 城	仙 台	仙台市中小企業活性化センター(アエル)	6 月30日(日)	12:00～17:00
茨 城	水 戸	水戸プラザホテル	5 月28日(火)	14:00～18:00
栃 木	宇都宮	マロニエプラザ	6 月 4 日(火)	13:30～18:00
			6 月 5 日(水)	13:30～18:30
群 馬	高 崎	ビエント高崎	5 月25日(土)	13:00～16:30
			6 月 6 日(木)	15:00～18:30
埼 玉	さいたま	さいたまスーパーアリーナ	5 月13日(月)	15:30～18:30
	川 越	ウェスタ川越	6 月 4 日(火)	15:30～17:30
	春日部	ふれあいキューブ	6 月 5 日(水)	16:30～18:30
千 葉	幕 張	東京ベイ幕張ホール	6 月 9 日(日)	11:00～16:00
東 京	渋谷	渋谷ヒカリエ ヒカリエホール	5 月25日(土)	10:30～17:00
	水道橋	東京ドームシティ	5 月30日(木)	13:00～18:00
	渋谷	渋谷ヒカリエ ヒカリエホール (外国人留学生対象)	6 月 3 日(月)	11:00～17:00
			6 月 4 日(火)	11:00～17:00
			6 月 5 日(水)	11:00～17:00
	有 明	東京ビッグサイト	6 月 8 日(土)	10:30～17:00
	新 宿	新宿 NSビル	6 月12日(水)	15:00～18:30 ※15:00～15:30 は高校教諭対象
	池 袋	池袋サンシャインシティ	6 月16日(日)	11:00～16:00
神奈川	横 浜	横浜新都市ホール（横浜そごう）	6 月 1 日(土)	13:00～17:00
			6 月13日(木)	15:30～18:30
静 岡	静 岡	ツインメッセ静岡	5 月19日(日)	11:00～16:00
新 潟	新 潟	朱鷺メッセ	5 月26日(日)	11:00～16:00
山 梨	甲 府	アイメッセ山梨	6 月 9 日(日)	11:00～16:00
長 野	長 野	ビッグハット	6 月12日(水)	15:00～18:30
愛 知	名古屋	ナディアパーク デザインセンタービル	6 月 8 日(土)	10:00～17:00
大 阪	梅 田	梅田センタービル	6 月15日(土)	10:00～17:00
広 島	広 島	広島国際会議場	6 月 9 日(日)	10:00～17:00
福 岡	福 岡	エルガーラホール	6 月16日(日)	10:00～17:00

本学が参加予定の進学相談会（5・6 月分）

内 本学では、各地で開催される進学相談会に参加予定です。本学への進学をお考えの受験生、保護者の方はぜひご来場ください。

日・時・場別表参照
問 入学課（☎03・5466・0141）

国学院大学院友大会

内 恩師や友人らとの再会、新しい出会い、情報交換…母校で楽しいひとときをお過ごしください。毎回お楽しみの「全国銘酒コーナー（西日本編）」もごぞいます。

日・時 5 月25日(土)18時～

場 渋谷キャンパス130周年記念 5 号館

アリーナ

料 5000円（125～127期の新院友は3000円）※同伴のご家族、在学生割引あり

申 案内に同封のハガキまたはメール（inyuukai@kokugakuin.or.jp）にて 5 月15日(水)必着。

問 院友会（☎03・3400・7781、☎03・3400・7996）

英語教育センター

TOEIC® 学内テスト

内 英語教育センターが団体受験特別制度（I P :Institutional Program）として実施するものです。公開テストと I P テストのスコアの有効性は T O E I C 主催団体で同一とされていますが、一部の企業、公務員採用試験、大学院入試などによっては公開テストの結果の提出を求められる場合もあります。

きをお過ごしください。毎回お楽しみの「全国銘酒コーナー（西日本編）」もごぞいます。

日・時 5 月25日(土)18時～

場 渋谷キャンパス130周年記念 5 号館

アリーナ

料 5000円（125～127期の新院友は3000円）※同伴のご家族、在学生割引あり

申 案内に同封のハガキまたはメール（inyuukai@kokugakuin.or.jp）にて 5 月15日(水)必着。

問 院友会（☎03・3400・7781、☎03・3400・7996）

日 5 月18日(土)
時 14時30分集合、17時15分散（実際の試験時間は 2 時間）

場 渋谷キャンパス（教室は試験1週間前をめどにお知らせします）

料 3700円

対 学部 1 ～ 4 年生、大学院生

申 4 月26日(金)正午までに自動証紙発行機で証紙を購入し、英語教育センター（渋谷）、たまプラーザ事務課に提出

問 渋谷:英語教育センター(百周年記念館)

本学の機関紙を定期購読してみませんか？

「国学院大学学報」は、本学のニュースや学生・院友（卒業生）・教職員の活躍をお届けする機関紙（年11回発行、8 月は休刊）です。定期購読をご希望の方は、広報課まではがき、FAX、メールでご連絡ください（年間購読料：500円〈税込み・送料含む〉）。連絡先は、1 面参照。

博物館

料 無料
時 10時～18時（入館は17時30分まで）、4 月29日(月・祝)～5 月 2 日(木・休)、27日(月)は休館

企画展「和歌万華鏡 一葉集から折口信夫まで」

内 古代から近代に至るまでの歌書を通して「和歌の魅力」を再発見していきます。国の重要文化財『金葉和歌集』（国学院大学図書館所蔵）など貴重な資料を展示し、世々の歌人によって連綿と伝えられてきた和歌にさまざまな角度から光を当て、「万華鏡」のように輝く和歌文化のありさまをお目にかけます。

日 前期：4 月27日(土)～5 月26日(日)、後期：5 月28日(火)～6 月23日(日)

場 博物館企画展示室

講演会「折口信夫から万葉集へ」

内 本学の辰巳正明名誉教授が講演します。参加無料。

針本学長の告辞要旨

「新たな『知』の創造を」

人工知能（AI）の活用により、現代社会が抱えるさまざまな課題の解決や新たな価値の創造が可能である、とも言われています。一方で、人間が持つ感情や思考、「知」の獲得を渴望する行為は、かけがえのないものです。

皆さんは大学での学びを通じ、先人が築き上げ、蓄積してきた知識や学術成果を享受し、「知」がどのように構築されてきたのかという「知の歴史」「知の道程」に触れることにより、新たな「知」を模索し、紡ぎ出していくことが可能になります。

「知」の探究には、これまで正しいとされてきた「知の在り方」を素朴に疑い、問いかける姿勢が必要です。日々の何気ない疑問を意識し、思考し、「問い直す力」を培い、新たな「知」の創造に、ぜひ挑んでみてください。

新入生代表宣誓要旨

竹内さん「自己見つめ直す」 富田さん「失敗恐れず挑戦」

●文学部・筆原旦さん（日文）

「自分自身の知識を深めるだけではなく、その知識を外部に発信して、多くの人々に日本文学の魅力を伝えていけるように学んでいきたいです」

●経済学部・竹内春佳さん（経ネ）

「一つの分野にとらわれず多様な角度から物事を深く考えるとともに、多くの方と交流し、さまざまな人の価値観を知り自己を見つめ直す4年間にします」

●法学部・野田真太郎さん

「決まり事の中だけで生きる人間を目指すのではなく、ルールを活用できる人間性を養いたいです。平成から新たな時代にふさわしい豊かな4年間にします」

●神道文化学部・富田依吹さん

「何事にも失敗を恐れずに挑戦し、勉強、サークル活動の一瞬一瞬を大切に取り組み、周りの人を大切に、そのことに感謝できるよう日々、精進します」

●人間開発学部・臼倉魁飛さん（健体）

「スポーツの基礎知識や身体の筋肉構造、スポーツマネジメントなど幅広い分野で学び、スポーツ界全体のけがを減らすという目標に向かって努めたいと思っています」



宣誓する竹内春佳さん（右）と富田依吹さん

国歌斉唱に続く告辞で、針本学長は「人工知能（AI）が日々、進展する時代であるからこそ、皆さん一人一人の心のうちにある『学びの心』と対峙し、『自分は何を知りたいのか』『自分は何かを知ろうとしているのか』という『知の欲求』『知の渴望』を呼び起こし、『新たな知』の獲得に挑むことが大切です」と説いた。

入学式を終えた新入生の島村広輝さん（経営）は「不安の中にも、これから新しい仲間と学んでいくという楽しみな気持ちもあります。東京五輪・パラリンピックの開催を控える社会情勢の中で経済を学べるのは貴重な経験。自主的に学んでいきたいです」と意気込みを語った。



宣誓する筆原旦さん

夢を胸に新生活スタート

学部・専攻科・別科入学式

学部・専攻科・別科の入学式が4月2日、東京都港区のグランドプリンスホテル新高輪で、午前には第1部の経済学部と神道文化学部・神道学専攻科・別科神道専修、午後には第2部の文学部、第3部の法学部と人間開発学部に分

けて挙行された。式典には坂口吉一理事長（当時）、針本正行学長をはじめとする役教職員が出席し、新入生2255人はそれぞれの夢を胸に新生活の一步を踏み出した。

大学院入学式

阪井さん「攻究の道歩む」

大学院の平成31年度入学式は4月1日、渋谷キャンパス常磐松ホールで挙行された。役教職員が出席し、新入生102人を新たな研究者として歓迎した。

針本正行学長は告辞で、「主体的な学び」の大切さを強調。「人文科学研究は『人間の学』であり、社会や他者との関係を視野に入れないながら、文化や思想などを生み出す過程における人間そのもののありようを解明する学問です。学問を志すにあたっては、月日をかけて研究に励み、高き志を心に刻み、自身の選んだ学問領域の『知の世界』を究明していくってほしいです」と呼びかけた。根岸茂夫大学院委員長は「皆さんが新しい国学院の学問をつくり上げ、それが伝統になっていくような研究生活を送るよう精進されることを期待します」と祝辞を述べた。

これに対し、新入生を代表して阪井瑞貴さん（博後文Ⅱ写真左）は「自らの研究目標に至るためには、自らの研究の原点、最初の疑問を強く自覚し、一つの考えにとらわれず、広い視野で物事をとらえるように努めることが不可欠であると考えます。私もは研究者としての自覚を持った上で、おのおのの目指すところに到達するため、ひいては人類の文化の発展に寄与するため、攻究の道を歩んでいくことを誓います」と力強く述べた。

